

住化・住武相談室だより

第9号 9月12日

発行 住友化学・住化武田農薬

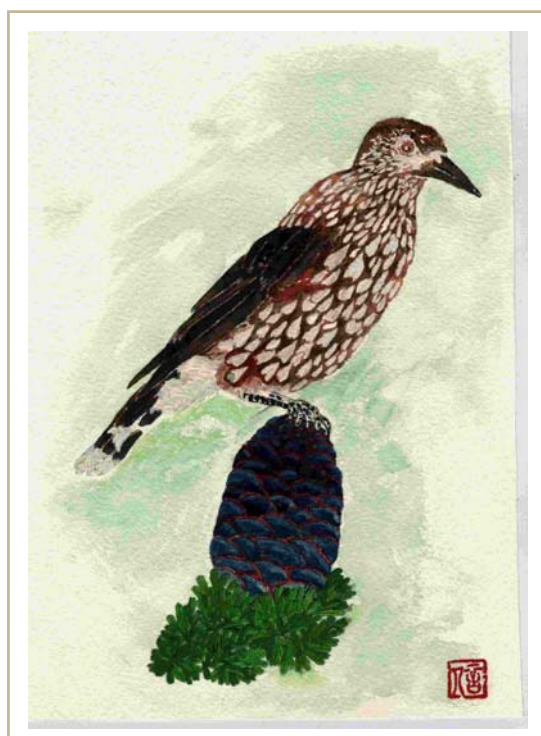
お客様相談室 0120-677-088

発行責任者 古津 昇

i-農力サイト <http://www.i-nouryoku.com/index.html>

目次

やさしい農薬の知識 (No. 2)	
【サスペンドドラマと農薬の乳剤】・・・	p. 1-2
知って得する防除の仕方	p. 2
IPMの現状と今後 (シリーズ⑦)	p. 3
雑草よもやま話 (9)	p. 4
市場情報No. 7	
「こだわり野菜」ってなに?①	p. 5
今月の推進農薬	
「バリダシン液剤・ベンレート水和剤」・	p. 6
今月の相談内容から	p. 7
農薬あれこれなぜなにコーナ	p. 7
VOL. 5 誰にでもできる楽しい野菜作り	
タマネギについて (1)	p. 8-9
病虫害発生情報	p. 10
登録情報	p. 11
コラム・そば談義	p. 12
編集後記	p. 12



やさしい農薬の知識 (No. 2)

【サスペンドドラマと農薬の乳剤】

犯人が手にした薬剤。床に数滴落ちる。しゅーっと薬剤が床で反応して白濁、わずかに白煙が……。そんな薬剤をかけられたら大変！これが〇曜サスペンスでの危険な危険な薬剤のイメージ。

お客さまから実際にこんな電話を頂きました。

「片付けをされていて、間違っって農薬を床に少しこぼして、それを雑巾で拭いたら、反応を起こして白く濁り、床の色も脱色されて、こんな危険な農薬をどうしたらいい

でしょうか」

これはまさに〇曜サスペンスの世界。

「状況わかりました。ところで、ラベルに何とか乳剤とは書いていませんか」

「はい。S乳剤と書いてあります」

これで状況は理解できた。

「心配ありません。乳剤の農薬は、使うときに水で1000倍とかに希釈して使用します。水に溶けにくい農薬の有効成分が良く混ざるように、界面活性剤(石鹼みたいなもの)や溶媒が加えてあります。牛乳には水



に溶けにくい固形成分がたくさん含まれているのをご存知ですか。」

「はい」

「牛乳も固形成分を水に均一にできるように、体で作った石鹸みたいな成分を利用しています。牛乳には水に溶けない小さなものがたくさん含まれているので光が乱反射して白く濁っています。乳剤の農薬も水で希釈すると牛乳のように白く濁った液になるので”乳剤”と呼ばれています。水で濡らした雑巾でこぼした農薬を拭いたので、

白く濁ったのです。それに、床が少し色落ちしたのは農薬に含まれる溶媒のせいです。S乳剤はいわゆる普通物で、こぼした量から考えても特に心配はありません」

「そうですか」

以上で〇曜サスペンスもどきの事件は解決。テレビなど映像のインパクトは大きく、正しい情報を伝えてほしいものです。でも確かに、その奥様が直面した状況はテレビの毒薬のイメージと似ています。(原)

知って得する防除の仕方

青枯病などの細菌病防除にバリダシン液剤5

ナスの青枯病は生育期にしおれ症状が現れ、その後急速にしおれが進みます。最後は枯死します。青枯病と診断されるが、今までは生育期の防除法が無く指導者泣かせでした。

青枯病の原体は細菌で、土壌が本菌により汚染されると防除が大変困難になります。水によって容易に伝播します。青枯病の症状は、前年の発病株の残渣で生存し、植付けられた作物の根(傷口)から侵入します。



導管内で増殖して根からの水分の移動を妨げます。

始めは日中に上位茎葉部から青いまま萎れ始めます。更に茎葉が褐変して萎れ枯死します。発病株から急速に周辺の株に萎れが広がります。防除法は土壌消毒(クロールピクリン剤・ダゾメット剤)や抵抗性台木や抵抗性品種を使用しますが、前年発生圃場では生育期の防除が必要です。

普通期露地栽培(5~6月頃定植)では梅雨明け以降から発病が急速に進む為、定植活着直後から散布を開始します。促成・半促成栽培(9~12月頃定植)では例年の発病状況から初発の時期を予測し、初発のおよそ1か月前頃(ナスの根が菌の生息域に到達する少し前から)散布を開始してください。薬剤は「バリダシン液剤5」の500倍を発生前から早めに数回散布します。「バリダシン液剤5」は収穫前日まで8回まで使用できます。青枯病の多発する圃場では登録のある土壌

消毒剤等との体系処理が必要です。「バリダシン液剤5」はレタスの腐敗病・軟腐病、キャベツの黒腐病・軟腐病、にんにくの春腐病等の細菌病に有効で登録を有します。また、糸状菌ではリゾクトニア菌によるレタスのすそ枯病、きゅうりの苗立枯病に有効です。更にふきの白絹病にも登録のある薬剤です。(富樫)

I PMの現状と今後 (シリーズ⑦)

化学防除について

化学合成農薬は時代とともに進歩し、今では実に多様な用途や種類があります。たとえば、当社で昨年発売したプレオフロアブルは、りん翅目害虫やミナミキイロアザミウマなどには高い効果を示しますが、天敵類やマルハナバチ、ミツバチなどにはほとんど殺虫性を示しません。そのため、施設で天敵農薬と併用することが可能です。また、野外でも土着天敵の働きに悪影響を与えないので、それら天敵の働きを生かすことができます。本剤のような薬剤は、むしろI PMの中で積極的に利用してその特性を発揮するといえるでしょう（I PM適合農薬）。

最近の殺虫剤の中には浸透移行性の高い薬剤が多いのも特長のひとつです。たとえばネオニコチノイド系の薬剤がその代表格ですが、これらの薬剤は各種害虫をはじめ天敵類などにも高い殺虫効果を有するのが普通です。ところが、その高い浸透移行性を利用した処理方法（粒剤による野菜の植え穴処理や水稻の箱処理）では、その天敵への影響は、散布した場合に比べ格段に減少します。すなわち、粒剤処理では薬剤自体は根から吸収され植物体内に移行するため、葉を吸汁したり食害する害虫などには効果を発揮しますが、肉食性の天敵類な

どには影響しないというわけです（ただし、植物から水分を摂るため、吸汁する天敵に効く場合はある）。水稻では箱処理剤が普及し、粉剤による殺虫剤の散布回数が減ったことにより、クモ類など土着の天敵類が水田害虫にも有効に働いているといわれています。

化学合成農薬以外においても最近はユニークな農薬が増えました。



天敵：ハモグリミドリヒメコバチ

古くから利用されていた銅剤や硫黄剤、マシン油などに加え、食品（粘着くん）や食添（アカリタッチなど）、石鹸（オレート）などを主成分に利用した農薬もあります。これらの特長は、化学農薬ほどの効果はないが、天敵や有用昆虫などへの影響

も小さく、物理的な効果のため抵抗性が発達しにくい点にあります。また、化学農薬より使用回数が多く設定されているため、I PMの中で利用しやすい薬剤といえます。

高知の例にみられるように、天敵を利用する場合においてもそれをうまく増殖させ、効果を発揮させるためには、的確な農薬の利用が欠かせません。今後、I PMが広く普及していく過程において、それにうまく適合する農薬や施用法のニーズがますます高まると思われます。

（本藤）

雑草よもやま話(10)

オモダカは別名ハナグワイといい、昔から家紋や武具の飾りの題材として使われていますが、水田では難防除雑草としてクログワイと同様に防除が問題となっています。

オモダカと同じ仲間の水田雑草にはウリカワ、アギナシがあります。オモダカの変種のクワイはおせち料理に使われる立派な栽培植物で、オモダカの園芸品として花卉が帯紅色の八重咲きや大輪咲きのものがあります。

オモダカは数多くの種子と塊茎（イモ）を作ります。種子から芽を出したオモダカは、除草剤で比較的容易に防除できるので問題はありませんが、厄介なのは塊茎から生育するオモダカです。塊茎から発生したオモダカは、初め、線形の葉を数枚～10枚程度出し、次いで葉の先端がへらのような形の葉を1～2枚出し、その後特徴的な矢尻型の葉を出します。オモダカはクログワイやウリカワ等と異なり、生育期間中に株数を増やすことはありません。夏になるとハナグワイの名の通り白いきれいな花を咲かせます。花は雌雄異花（雄花と雌花が別のこと）で、花茎の下の方についた雌花が先に咲き、その後雄花が開花します。



オモダカの塊茎は大きさがまちまちで、大きな塊茎ほど土中深く、深さ30cmにも作られます。また、秋に作られた塊茎は深い眠り（休眠）に入っており、芽を出すには休眠から覚める必要があります。休眠から覚めるためには高温が必要で、遅いものは夏になって休眠から覚めるものもあります。このため発生はダラダラと長く、代かきから100日以上経っても芽が出てきます。この性質が防除を難しくしている理由の一つです。除草剤で防除する際には、オモダカに有効な薬剤を体系で使用する必要があります。

クログワイの塊茎は、水田土中で5年間生存していた事例を前に記しましたが、オモダカの塊茎の寿命はほとんどが1年です。従って、1年間徹底的に防除を行い新しい塊茎を作らさなければ、次年のオモダカ発生は防げます。

水槽の水草として輸入された、オモダカと同属のナガバオモダカが逃げ出し、帰化しております。熱帯魚を飼育される方は、水草の管理にも気を使っていたいただきたいものです。

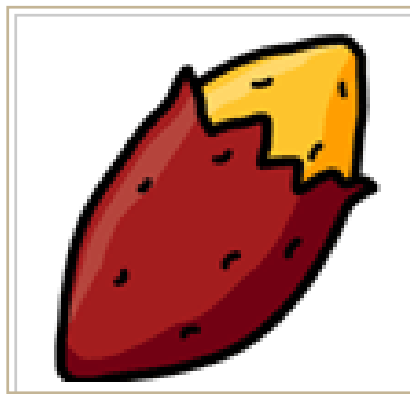
(岩崎)

市場情報 NO.7**- 日本エコアグロの取組み -****「こだわり野菜」ってなに？・・・①**

日本エコアグロ(株) 農産商品部 大家 修

日本エコアグロでは、産地や生産者の方々が“こだわり”をもって生産した農産物や農産物の商品企画を、卸売市場、仲卸、生協、量販店などへ販売を行い、より良い農産物を消費者にお届けしようと頑張っています。

また、その“こだわり”の実現のために、土づくりや各種診断に基づいた栽培計画や果菜類などのIPMプログラムを提案し、必要に応じて実証試験をしています。

**1. 土壌、作物の各種診断を行います。**

環境、土壌、堆肥等の圃場状態を確認し、目的とする作物に合った栽培計画を提案します。同時に作物別に品種の選定を重視します。

2. 施肥設計、栽培計画および必要な肥料、資材を提案します。

地力の維持向上のための施肥設計を行い、健全な作物づくりのための栽培計画を提案します。併せてそれに役立つ肥料、資材の紹介、販売を行います。

- ① 作物の健全生育の維持・増進のための、マイグリーン、NEA ミネラル、陸の恵みなど
- ② 肥料成分の補給のための、天然硫酸苦土、NEA ペレット肥料、NEA 一発肥料など
- ③ 品質の向上のための、JBB ステビア資材など

3. IPM プログラムの提案を行います。

栽培目的に適い、作物・地域に対応したIPM（総合的病害虫管理）プログラムを提案し、必要に応じて実証試験を行います。

4. 安全・安心で、より良い農産物＝“こだわり”の販売を行います。

- ① 農産物診断（農産物中の硝酸含量、微量成分等の分析）を受託し、安全・安心を確認します。
- ② こだわり野菜をお手軽価格でお届けするために、生産コストの低減（使用資材の合理化、技術向上）や流通の簡素化（直販強化）に努力しています。
- ③ 野菜の命は、味と鮮度です。そのため産地から一刻も早く店頭に並べることができるよう、各産地に現地加工センターを設置して集・出荷しています。これらの施設の設置は生産者の労力軽減や栽培に専念できるメリットがあります。

今月の推進農薬

柑橘のかいよう病対策につて(NO.1)

【バリダシン液剤】

台風 14 号が九州から西日本各地を中心に大きな被害をもたらしました。

果樹、ことに「かんきつ」では「かいよう病」と「貯蔵病害（果実腐敗）」の多発が心配されます。そこで今回は、かんきつのかいよう病と貯蔵病害についてお話させていただきます。

まず、「かいよう病」ですが、本病は、*Xanthomonas campestris* pv. *citri* という細菌（バクテリア）によって引き起こされる、細菌病です。この病原細菌の生育適温は、20～30℃です。葉や枝の病斑内で越冬し、翌春、平均気温が

12℃前後になるころから菌の増殖が次第に活発になり、降雨等によって“水媒伝染”します。感染は、発芽直後の新葉などクチクラ層が未発達組織の気孔や負傷口から行われ、発達した健全な表皮から侵入することはありません。

従って、降雨の多い時や台風の襲来が多い時などにはひどく感染し発病します。また、本病は品種間の抵抗性の違いが大きく、ネーブル、ナツダイダイ、レモン等は特に弱く、伊予柑等はそれに次ぎ、温州みかんは中程度の抵抗性を示します。日向夏やユズは強く、キンカンは自然条件下では発病しません。

防除対策は、①薬剤予防散布による適期防除（発芽前、開花直前～落弁期～梅雨期、台風襲来前）、②冬期間（春先菌の活動が活

発化する前まで）に罹病枝・葉の除去、傷をつけにくくするためのトゲの除去、③ミカンハモグリガ（エカキムシ）の防除、④防風垣、防風ネットの設置などの防風対策など、薬剤防除（予防散布）と耕種的防除を組み合わせ、園内の病原菌密度を下げるのが重要です。

住化アグログループでは、「かんきつかいよう病」に登録を有する薬剤として、「ボルドー（水和剤）」（塩基性塩化銅 84.1%=銅として 50%）と「バリダシン液剤 5」（バリダマイシン 5.0%）があります。

「ボルドー」は、1,000～2,000 倍で使用し、使用時期・回数制限は特にありませんが、薬害（スターメラノーズ）回避のため、炭酸カルシウム水和剤を加用し、特に果実着生時期の散布では厳守する。また、ワシントンネーブル等の雑柑類には、薬害の懸念があるため登録の範囲の薄い濃度（2,000 倍）で使用する。



ナツダイダイ成熟葉と幼果の病斑（7月）

「バリダシン液剤」の適用内容は、「500 倍／14 日前／4 回」です。本剤は、どの時期に使用しても薬害の懸念はほとんどありません。また、他剤との混用、特に夏期マシン油との混用でも、薬害の助長や、薬効の低下を招くことがなく、使い易い薬剤です。但し、本剤の作用機作（＝植物の抵抗性誘導と菌の栄養代謝阻害から病原細菌の増殖を抑制する）から、菌の増殖前からの予防散布をし、他剤とのローテーション散布の一剤としてご使用ください。（打和）

今月の相談内容から

ヨトウムシの防除について?

質問

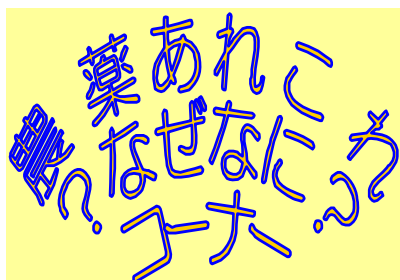
夏秋ピーマンで果実にヨトウムシの被害で困っています。対策を教えてください。

回答

今年の夏も高温乾燥に経過し、大型りん超目害虫が多発生しています。8月8日に高知県で野菜・大豆・花き類等のハスモンヨトウの注意報が発令されております。ピーマンの表皮を残して内部を食べるのはオオタバコガの幼虫です。果実に穴をあけて内部を食べるのがハスモンヨトウです。5~6令になると日中は土中や敷きわらや株元に潜み夜間に葉や果実を加害します。防除剤はBT剤の「フローバック DF」「ゼンターリ顆粒水和剤」「エスマルク DF」等をヨトウムシの発生初期に1000倍散布や、感受性低下の防止のため作用性の異なる新農薬のプレオフロアブルをオオタバコガ防除に1000倍散布の体系防除をお勧めいたします。(富樫)



ヨトウムシのキャベツ被害



台風で作物に傷がついちゃった!

ご質問

先日の台風は、雨風ともにものすごく、うちの畑で育てているキャベツに傷がついてしまいました。一方、水に浸かってしまったものもあります。これらはもう、どうにもならないのでしょうか?

お答え

雨風で傷がつき、水にも浸かったとなると、最も心配されるのは、軟腐病や黒腐病などの細菌性(バクテリア)病害に感染して、腐敗してしまうことです。この発病を防げれば、多くのものは、収穫できます。

このためには、傷ついた後できるだけ早い時期に、これらのバクテリア病害の増殖を抑える、バリダシン液剤、スターナ水和剤での防除を行ってください。

防除が早いほど効果が高まりますので、雨がやめばすぐに散布して発病を防ぎ、品質のよいキャベツを出荷してください。(佐伯・稲葉)

VOL. 5 誰にでもできる楽しい野菜作り**タマネギ (1)**

府県の秋まきタマネギの栽培と、北海道の春まきタマネギ栽培

1 タマネギのルーツを知ろう

1) 原産地とわが国への渡来



コンテナに積まれた北海道タマネギ

原産地は北西インドやタジク、ウズベキスタン、天山などのシルクロード付近といわれていますが、野生種は発見されていません。紀元前数千年から食用にされた形跡があるとのこと。この地方を中心にして各地に栽培が始まりましたが、アメリカでは16世紀から後の栽培と言われています。日本では江戸時代に栽培されていた形跡はありますが、本格的な栽培は明治になってからです。

2) 最初は北海道開拓使の手で

明治4(1871)年に北海道で栽培に成功していますが、アメリカの中北部で栽培されていたタマネギはほとんど春まき用の品種でした。気象がかなり北海道と似ていたので、スムーズに土着することが出来ました。ところが大阪府に入ったものは、春まきすれば余り大きな球にならないうちに暑さで茎葉が枯れてしまう。また、秋まきで試験をすれば皆とうが立ってしまう。このような試行錯誤の中で、明治17(1887)年頃ようやく栽培に成功、その後アメリカから導入した「イエロー・ダンバース」という品種を馴化して、有名な「泉州黄」の基となりました。

いっぽう北海道では、これまたアメリカから導入した「イエロー・グローブ・ダンバース」という品種が元で「札幌黄」が誕生しました。ここ10数年前まで原品種のせいで、府県産のタマネギは平型、北海道産のタマネギは丸型と決まっていたましたが、現在では全国的に丸型の品種に統一された感があります。

3) 日本のタマネギの有名産地は？

日本のタマネギ産地は北は北海道から南は九州まで全国的に分布しています。北海道では札幌周辺から栽培が始まりましたが、富良野市、岩見沢市・北見市とその周辺の訓子府町・美幌町・端野町・留辺蘂町・上湧別町・斜里町などが産地です。

府県では関東では栃木県・千葉県、中部では静岡県・愛知県が産地です。愛知県は早だし

で有名でしたが、最近では佐賀に大きく越されています。近畿では大阪府の南、泉州地方が多かったのですが、最近では都市化で激減、海一つ隔てた淡路島や、隣の香川県、などが大産地になっています。佐賀県の有明海干拓地では栽培が激増、国内では北海道につぐ産地になり、早だしから吊り玉まで広く生産され、各地に出荷されています。

日本でのタマネギは輸入野菜の走りのようなものでしたが、産地がアメリカ・ニュージーランドのような民度の進んだ国のためか、不作の年に手当を多くし、豊作年にはあまり輸入しないという節度も見えてきて、国内産地が悲鳴をあげることは少なくなりました。

しかしこのところ東京市場の年平均kgあたり卸単価は、1995年＝104円、1996年＝84円、1997年＝80円、1998年＝105円、1999年＝81円、2000年＝71円と下落傾向にあるは事実です。輸入の為、昔のように国内が不作で価格が暴騰、「タマネギ御殿が建つ」というようなことはなくなりました。

2

タマネギ品種はF1時代へ

1) 野菜のF1とは？

一代交配ともいい、メンデルの法則の利用で、同じ種内でも比較的遠縁の品種を交配すると、雑種強勢という現象が現れ、株は丈夫で品質がよく多収、また良く揃うという利点が見られます。戦前はナス、一部のウリ類などで利用されていたのですが、戦後はこの一代交配の利用が大躍進、F1の採種困難なセルリー・レタス、地方野菜の菜類、栄養繁殖のイチゴ・イモ等を除き、ほとんどの野菜が一代交配化されてしまいました。キュウリ・メロン・トマトなど販売種子はほとんどF1化されてしまいました。

上記の利点のほかに、種子の取り返しを利用者ができないので、毎年種子を購入しなければならず、種苗会社の営業利益にもつながっています。

2) タマネギ種子の一代交配化は？

タマネギ種子の一代交配化は果菜類よりは遅れましたが、最近では激増しています。タマネギ種子の大手販売業者、タキイ・七宝も最近の販売品種はF1種が大部分です。研究者によればタマネギの一代交配種は、揃いはよいのですが、収量性は特に多くないといわれています。よく揃うので規格品の市場出荷には、何といてもF1が有利なようです。ただ播種期を間違えて早まき大苗にしてしまった場合、不時抽苔も揃って多くなることがあります。昔は5%程度のとう立ちは却って増収といわれたものですが、F1の場合、0が殆どですが、播種期・育苗に失敗すると激増することがあります。

(I－農力掲載の肥料部資料より)

病害虫発生情報

8月～9月初に各県から出された病害虫注意報・特殊報から、主要なものをお知らせします。

水 稲

- 斑点米カメムシ類： 青森・山形・山口・香川県
岩手県は、8月10日付けで警報を発令。
粒剤で防除できるダントツ粒剤、散布剤のスミチオン、
ダントツ粉剤・水溶剤などの薬剤で、徹底した防除に努
めてください。
- トビイロウンカ：千葉・佐賀・長崎県
ダントツ剤で、カメムシ類との同時防除が可能です。



野菜・花き類

- オオタバコガ：群馬県
プレオフロアブルが、トマト・ピーマン・なす・キ
ャベツ・はくさい・レタス・きくで登録があります。
エスマルクDF、フローバックDF、ゼンターリ顆粒水和剤などのBT剤が野菜類で、エ
スマルクDFはきくでも登録があります。

ね ぎ

- シロイチモジヨトウ：徳島・大分県
プレオフロアブル・フローバックDFがねぎで、ゼンターリ顆粒水和剤が野菜類で登録が
あります。

あぶらな科野菜・だいず他

- ハスモンヨトウ：滋賀・岡山・鳥取・島根・高知県
プレオフロアブル（キャベツ）、フローバックDF（野菜類、だいず）、ゼンターリ顆粒水
和剤（野菜類、豆類（種実）、そば、きく）パーマチオン水和剤（だいず）などが、ハス
モンヨトウで登録があります。
また、地域で協力して性フェロモン剤、フェロディンSL（ハスモンヨトウ加害作物栽培
地帯で登録）による雄蛾の大量誘殺という防除方法もあります。

あぶらな科作物

- ハイマダラノメイガ（ダイコンシンクイムシ）：東京都・兵庫・奈良県
アディオン乳・パダンSG水溶剤（だいこん）、エスマルクDF・フローバックDF（キ
ャベツ）、DDVP乳剤75（キャベツ、ブロッコリー、だいこん）で登録があります。

トマト

- トマト黄化葉巻病：岐阜・和歌山・島根県
シルバーリーフコナジラミにより媒介されるウイルス病です。
定植時のダントツ粒剤、ベストガード粒剤、生育期の両水溶剤、スミロディー乳剤で、
シルバーリーフコナジラミの防除を行ってください。

（稲葉）

登録情報

8月17日、8月31日付の適用拡大です。

◎ダントツ水溶剤

★作物追加

○つつじ・さつき：ツツジグンバイ／2000倍／発生初期／4回以内／散布

★害虫追加

○すいか／ウリハムシ、なす／ハモグリバエ類、レタス・きく／ナモグリバエ、
りんご・おうとう／カメムシ類。

◎ダコニール1000

★作物追加

○いちじく／疫病／2000倍／前日／2回

○ネクタリン／灰星病、黒星病／1000倍／前日／2回

○リーフレタス／すそ枯病、べと病、／1000倍／21日前／2回

○ひろしまな／白斑病／1000倍／28日前／2回

○みしまさいこ／炭疽病／800倍／30日前／3回

◎イッテツフロアブル

★雑草追加

○クログワイ／東北・関東・東山・東海

○コウキヤガラ／東北

★適用地帯変更

移植後15～25日（移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系）：全域（北海道を除く）の普通期及び早期栽培地帯へ拡大。

★使用方法追加

水口施用の追加。

（稲葉・佐伯）



コラム・そば談義

一度は観たいと思っていた高橋真理子のコンサートに行った。

観客は我々と同じ白髪交じりの中高年が多く、ペドロ&カプリシャスの頃にヒットした「五番街のマリー」などを聴いた世代だ。歌手生活40年を迎えたというが、彼女はまだまだ声量があり、かつ歌の合間に観客に向かって語りかける言葉に素直な性格がよく出て十分堪能することが出来た。

会場を出ると満足感と相反して空腹感が頭を擡げ、目敏く見つけておいた蕎麦屋の暖簾を潜った。当初、お客が二人程だったが、さすが中高年の観客が多かったためか、帰途にある店内は直ぐに満員になった。しかし、店はそれだけのそばを準備していなかったと見えて、ほとんどの客は追い返さ

れてしまった。

当初、この蕎麦屋にあまり期待していなかったが、麺の味を試すつもりで「もりそば」から一本だけダシを付けずに啜ると意外と美味しく先ほどのステージと合わせて二度満足感を味わうことが出来た。そこでいつものように、蕎麦は二八か、蕎麦粉は何処の産かなどと尋ね、最後に店の名刺を所望すると、「店の宣伝は一切していない」と云った言葉に一本ピーンと筋を通そうとしている気概を感じた。

そんな訳で、我が相談室もお問い合わせには正直に答え、かつ一本筋の通った相談室になりたいとふと思うのだが・・・。

(JR 本八幡駅から徒歩5分「蕎麦瀧森」)
(古津)

[編集後記]

ここに来て、やっとならば朝夕が幾分凌ぎやすくなったような感がある。それにしても、今年は台風が世界中で猛威を振るっている。これも異常気象のせいだと片付けてしまえば事は簡単だが、堤防が決壊するとコンクリートでより堤防を強固なものに建設する必要があるとか、また、それは自然破壊だと世間では議論が高まる事が予想される。

要するに、世の中が豊かで平穏なときは自然を守ることが優先されるが、何か大きな災害があると、世論の見方は一気に変わってしまう。それは、農業も同じような歴史を辿っている。日本中が飽食であれば自然食を好み一たび何かで食料難にでもこようなら食料増産を叫ぶに違いない。それが、世の中の流れと割り切れればいいのだが、日本のことだけを考えていればいいという時代はすでに過去となり、すべて近隣諸国含めて世界の動きを念頭に入れながら、トータルで物事を考えることが必要である。よって、非常に難しい時代になったと思いつつ、自民党圧勝の総選挙結果を画面で観ながらこれからどうなるのかボンヤリと考えている。

表紙の挿絵「ホシガラスとオオシラビソ」 技術顧問 富樫氏作